

特定非営利活動法人ひろがり
令和 6 年度事業報告

1 事業実施の報告

特定非営利活動法人ひろがりでは、障がい児の子育てと障がい者の豊かな生活の支援に関する事業を行ってきた。また、障がい児の子育てと障がい者の豊かな生活を支援するための各種研修事業、研究事業などを行うことにより、障がい児（者）をとりまく環境をよりよくし、地域福祉の増進と向上に寄与することを目的として、下記の事業を計画実施した。

具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、障害児通所支援事業を中心として、各種研修事業、研究事業を行い、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業、については、さらに調査し、ニーズと人材を考慮し検討した。どの事業も、ひきつづき新型コロナウイルスを含む感染症による感染予防対策をして実施した。また、研修、研究事業については、現地・オンラインのハイブリッド開催により、多く方が参加できるように対応した。

経営面では、引き続き新しい職員の採用、新規利用者の獲得、サービスの質の向上に力を入れた。これにより多くの支援と収益改善につなげることができた。

次年度はさらに経営改善と支援の幅をひろげる為に、居宅訪問型保育事業、医療型特定短期入所事業を行い、さらなるひろがり飛躍の年とする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子育て相談

ア. 事業内容

重症児の子育て支援、親や関係者による重症児の子育て支援について、子や親の気持ちに寄り添う支援を行い、ともにひろがり、成長するよう努めた。

- ・重症児の心と体の相談
- ・呼吸を育む相談
- ・かかわり方や遊びの相談
- ・食べる力を育む相談
- ・食形態の相談
- ・動きや姿勢、介助の仕方の相談
- ・排せつの相談
- ・発声、発語の相談
- ・表情や笑顔の相談
- ・歯科相談
- ・兄弟の相談
- ・その他 子育てに関する何でも相談

イ．実施日時

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

ウ．実施場所

重症児デイサービスひろがり 1 くみ、2 くみ

エ．従事者の人数

ひろがりスタッフ 10 名

オ 受益対象者の範囲及び人数

障がい児（者）家族延べ 120 組 障がい児支援者 40 名

② 研修事業

ア 食べる力を育てる研修会

<研修動画の配信>

(ア) 事業内容

障がいの重い方が、食事をおいしく楽しく安全に食べることができるように、障がい児（者）、家族、かかわる人たちが、具体的、実践的に研修し、障がい児をとりまく環境をよりよくし、地域福祉の向上と増進に寄与するように努力した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度製作した「重症児のプロ育成講座」を研修希望の方が引き続き無料で視聴できるようにした。

(イ) 実施日時

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

(ウ) 受益対象者の範囲及び参加人数

・障がい児（者）家族、障がい児支援者など一般市民約 100 名

<「食べる力を育てる研修会」の実施>

(ア) 事業内容

障害児が、楽しく、おいしく、安全に食べることができるように、また、重症児が、楽しく安全にひとさじでも味わう喜びを感じられるように、支援者向けの研修会を行った。

(イ) 第 1 回 実施日

令和 6 年 7 月 13 日（土）

(ウ) 実施場所

名古屋国際会議場

(エ) 講師 3 名（法人内 2 名） / 開催スタッフ 25 名

(ウ) 受益対象者の人数

当日参加（障害児の食事に直接かかわる支援者とご家族）92 名（会場 41 名、オンライン 51 名）

(イ) 第 2 回 実施日

令和 7 年 2 月 22 日（土）

(ウ) 実施場所

知多市勤労文化会館

(エ) 講師 4 名（法人内 3 名） / 開催スタッフ 21 名

(ウ) 受益対象者の人数

当日参加（障害児の食事に直接かかわる支援者とご家族）59 名（会場 18 名、オンライン 41 名）

イ 「こころとからだにやさしい介護食づくり～食べる力を育てる実習～」 研修会

(ア) 事業内容

・食べる機能に障がいのある障がい児が、おいしく、楽しく、安全に食べることができる、こころとからだにやさしい介護食について研究するとともに、関係する支援者、家族、職員らが実際に作って食べてみるという研修を開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度製作した「重症児のプロ育成講座」を研修希望の方が引き続き無料で視聴できるようにした。

(イ) 実施日時

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(ウ) 受益対象者の範囲及び参加人数

・障がい児（者）家族、障がい児支援者など一般市民約100名

エ 「こころとからだの研修会」

<特定非営利活動法人陽だまり笑顔の会> 研修会>

(ア) 事業内容

重度障害児（者）とのかかわり方の基本、健康づくり、コミュニケーション力向上を「ふれあい体操」を活用して研修した。

(イ) 実施日時

令和6年12月1日（日）

(ウ) 実施場所

桜井市総合福祉センター竜吟荘

(エ) 従事者の人数

講師2名（別途法人内より2名参加）

開催スタッフ（正会員3名）

(オ) 受益対象者の範囲及び参加人数

・障がい児支援者など一般市民23名

<ふれあい体操研修会>

(ア) 事業内容

重度障害児（者）とのかかわり方の基本、健康づくり、コミュニケーション力向上を「ふれあい体操」を活用して研修した。

(カ) 第1回 実施日時

令和6年4月27日（土）

(キ) 実施場所

名古屋市港生涯学習センター

従事者の人数

講師1名（法人内）

開催スタッフ27名

(ク) 受益対象者の範囲及び参加人数

・特別支援学校教員、施設職員ら 18名（会場6名、オンライン12名）

(ケ) 第2回 実施日時

令和7年1月11日(土)

(コ) 実施場所

名古屋国際会議場

従事者の人数

講師2名(法人内1名)

開催スタッフ25名

(サ) 受益対象者の範囲及び参加人数

- ・ 特別支援学校教員、施設職員ら 57名(会場32名、オンライン25名)

エ 「重度障がい児のかかわり方の基本研修会」など

(ア) 事業内容

重度障がい児(者)とのかかわり方の基本を、「障がいの重い子どものためのふれあい体操」「からださん元気ですか体操」などの体操を活用して研修し、障がい児(者)とのよりよいコミュニケーションの力を身につけ、地域福祉の向上と増進に寄与した。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同様に、撮影録画、編集した研修動画を、希望者にオンラインで配信した。

(イ) 配信実施日

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(ウ) 受益対象者の範囲及び受講人数

- ・ 一般市民(障がい児の親、障がい者にかかわる方、特別支援学校教員など)約100名

③ 研究事業

事業内容

- ・ 重度障がい児の子育てと重度障がい者の豊かな生活支援について、日々の重症児デイサービスの生活を通して実践研究した。

特に、今年度は、「味わう」ことの意味、意義について、実践的な研究をつづけた。感覚刺激としての味覚や口腔周辺の触覚、嗅覚、聴覚、視覚の五感を駆使した感覚入力が、子どもの発達においていかに大切で大きな意味があるかを、重症児の食支援を通じて研究し発表した。

【実施日時】

令和6年11月8日、9日

【実施場所】

神戸国際会議場

【講演】

2名(法人内)

④ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業
今年度は実施せず、令和 7 年度 7 月～指定見込み、9 月～10 月実施予定見込み

⑤ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業
今年度は実施せず、令和 7 年度に申請予定

⑥ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(ア) 【事業内容】

・障害児通所支援事業

■第 1 事業所 「重症児デイサービスひろがり 1 くみ

(特例による多機能型事業所：児童発達支援、放課後デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援)」

■第 2 事業所 「重症児デイサービスひろがり 2 くみ (放課後デイサービス)」

【実施日時】

■第 1 事業所 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月に実施

■第 2 事業所 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月に実施

【実施場所】

■第 1 事業所 /名古屋市港区名四町 183 番 3

■第 2 事業所 /名古屋市中川区松年町 4 丁目 3 番地マイハウスコンカドール 103 号

(イ) 従事者の人数

第 1 事業所

児童発達支援管理責任者 1 名、管理者 1 名、保育士 3 名、児童指導員 12 名、指導員 3 名、機能訓練担当職員 4 名、看護師 11 名、嘱託医 1 名、嘱宅歯科医 1 名

第 2 事業所

児童発達支援管理責任者 1 名、管理者 1 名、保育士 4 名、児童指導員 10 名、指導員 3 名、機能訓練担当職員 4 名、看護師 10 名、嘱託医 1 名、嘱宅歯科医 1 名

【受益対象者の範囲及び利用人数】

第 1 事業所 (児発) 障がい児 1,076 名(延べ人数) 1 日平均 4.1 人

第 1 事業所 (放デイ) 障がい児 295 名(延べ人数) 1 日平均 1.1 人

第 2 事業所 (放デイ) 障がい児 1,403 名(延べ人数) 1 日平均 5.3 人